

駅へのアクセス向上と駅周辺に にぎわいのある土地利用を促進

甲南駅周辺整備は、JR草津線の利用促進と利便性の向上を図ります。
平成31年春の駅舎等の供用開始をめざし、2月に仮駅舎を供用し、その後、既存駅舎の解体工事や新駅舎等の本体工事を進めます。駅周辺の円滑なアクセスの向上を図るため、甲南駅前線等の道路を整備し、安全で快適な空間づくりに努めます。
また、貴生川駅周辺については、都市計画マスタープランに基づく規制緩和等により、にぎわいのある土地利用をめざし、さまざまな施設や居住の誘導を推進します。

問合せ
都市計画課 市街地整備係
TEL 69-2205 FAX 63-4601



▲甲南駅舎（南口）のイメージ

誰もが安全下 快適な乗降を 信楽駅

信楽高原鐵道の信楽駅では、ホームから列車の乗降時の段差を解消し、より安全で快適な乗降のため、ホームの整備を行いました。



▼バリアフリー化した信楽駅1番ホーム

問合せ
公共交通推進課 公共交通推進係
TEL 69-2215 FAX 63-4601

名神名阪連絡道路 整備促進 に向けて 一歩前進

期待される効果

今年度、滋賀県の「政策要望」に名神名阪連絡道路の整備が加えられ、平成29年5月に知事自らが国土交通省へ提出されました。また、1月には、名神名阪連絡道路の早期「整備区間」の指定について、関係団体と連携を図りながら同盟会の会長職として市長が国へ要望活動を行いました。
名神名阪連絡道路の実現は、広域幹線道路のネットワーク化により、内陸型工業地域として更なる企業活動の活性が見込まれ、生産性の向上や新需要の創設により地域振興が図れるなど、絶大なストック効果によって、確かな将来の地域ビジョンの展開が可能になってくるなど大きな効果が期待されます。



▲イメージ位置図

- ①広域ネットワークの強化
東西方向、南北方向ともにネットワークの充実化
- ②企業立地の促進
雇用拡大による人口増加と地域の活性化
- ③災害時等における代替路の確保
地震の発生や災害時における代替路としての役割
- ④観光振興への貢献
回遊性の向上による観光客の増加
- ⑤救急医療への貢献
搬送時間の短縮と救急医療圏の拡大

問合せ
建設事業課 事業調整係
TEL 69-2209 FAX 63-4601

鉄道 とつながる コミュニティバス

通学や通勤などの交通手段として利用される方に、コミュニティバスと鉄道との円滑なアクセスにより利便性の向上を図ります。

4月1日から 一部ダイヤや路線を改正

鉄道との円滑なアクセス

- 寺庄駅ー貴生川駅線ルートを新設
JR草津線の貴生川始発便に対応します。
- 田村神社発 貴生川駅行を追加
7時45分貴生川発 草津線に乗りできます。
- 貴生川駅発 田村神社行を1便増便
昼間の待ち時間を軽減
- JR南草津駅まで新名神高速道路を活用した直行バス10時台を追加
鉄道の利用が困難な地域等から高速道路を活用して、草津方面へのアクセスを強化

ルート統合により貴生川駅経由 甲賀病院行を増便

●駅から病院へのアクセスを強化
※その他改正による各路線の詳細なダイヤについては、次のいずれかでご確認ください。

- 時刻表(エリア版)
4月に区・自治会を通じて配布。
- 時刻表(ポケット版)
駅・バス会社・公共施設で配布。
- 市ホームページ
4月1日に掲載予定



問合せ 公共交通推進課 公共交通推進係 TEL 69-2215 FAX 63-4601

新名神高速道路 開通10周年

平成30年2月で新名神高速道路（亀山JCTー草津田上IC間）は開通10周年を迎えました。関西圏と中部圏を繋ぐ交通網の大動脈として、本市の経済活動や観光振興などに無くてはならない高速道路です。

通行量は、開通前に予想された一日平均1万4千台を大きく上回り、約5万台/日の車両が通行しています。近畿地域の東の玄関口に位置する本市の土山SA（サービスエリア）や甲南PA（パーキングエリア）は、甲賀の情報発信拠点のひとつとして、旬の観光情報や特産物、甲南PAの忍者からくりアートなど観光客を楽しませる仕掛けやイベントも実施されています。

また、高速バスの停車駅でもある土山SAでは、東は名古屋・東京方面、西は京都・大阪・神戸方面まで高速バスと高速道路を活用して行くことができます。昨年12月には、高槻・川西間が開通、年度内に神戸まで開通予定となっております。また、亀山西・新四日市間が平成30年度に開通する予定です。残る区間が早期に開通することで、本市の地理的優位性が、更に高まっています。



▲甲南PAのからくりトラックアート

